

小さくなった故郷

香芝市立香芝北中学校 1年 大村 莉咲

「故郷が小さくなったと言われたらびっくりしますよね？ですが、私の故郷（出身地）の長崎県五島列島はとても小さくなってきています。」というあるドラマの台詞があります。人口、面積、残された家族の三つの点から見た私の意見を主張します。

まず最初に、長崎県五島列島はどのような場所なのかについて紹介します。五島列島は九州地方のはじっこにある小さな島です。自然豊かで住人どうし仲が良いとても温かい島です。では五島列島がどのような島かすこしは、分かってもらえたと思うのでここから本題にもどります。

一つ目、人口の変化について。私が生まれるもっとも前の明治三十年の人口は、約十五万人もの人が五島列島に住んでいました。ですが、私が生まれた年の平成二十三年の人口は、五万人と減少してしまいました。この114年で十万人もの人口が減ってしまいました。私も、五才で奈良県に引っこしたので、子どもが長崎県からいなくなることも増えてきているのだと思います。このような少子高れい化は五島列島だけではなく、日本でも大きな問題となっています。そこで、人口問題は、長崎県五島列島だけではなくないじゃないかと思われるのではないのでしょうか。ですが、人口の減少具合がとても大きいのが五島列島なのです。逆に高れい者の島とも呼ばれるほどの人口の約九割が高れい者ということにもなっています。

二つ目は、面積の変化です。まわりが海に囲まれているということもあるので年々面積が小さくなってきています。日本の小さな島も海水が多くなって海に飲み込まれ数が減ってきています。なんと、長崎県五島列島も私たちが生きている間に土地がなくなってしまう可能性があるという私のおばあちゃんに聞きました。このような面積の変化は、簡単にふせぐことができないとても大きな問題だと思いました。

三つ目、残された家族数について。五島列島の特ちょうは、大家族ということです。私の家族もその一つで、おばあちゃんきょうだい、おじいちゃんきょうだい、いとこ家族にお父さんきょうだいの大人数で一つの屋敷でくらしています。このような一家族が三十人ごえの人数の家がとても多いです。だからこそ、奈良県香芝市のような住たく地がなく家の数が少ないということも問題の一つです。

このような三つの問題がある他にも、近くにお店や学校が少ないことから子育てせだいには不便ということもあります。私は、大好きな五島列島の未来がとても心配になりました。

ここで自分にも何か出来る事はないかと思ひ考えました。私にできることは、もっと五島列島の良さをみんなに広め人口を増やすこと、少しでも五島列島の環境をきれいにすることの二つを今からやり続けようと思ひました。そして私が大人になれば、もっと力になれるような事をして五島列島を守っていききたいと思ひました。私の思ひえがいているりそうの未来は、にぎやかで自然のあふれた住民どうし仲が良いすてきな島にしていきたいです。子どもから高れい者までみんなが生き生きと生活ができる未来がまっていたらいいなと心から思ひます。

最後に、この少年の主張で一番伝えたいことは、長崎県・五島列島を守りたいという事です。自分にしか出来ない事をするのは、とても大切だと思ひました。五島列島を守ることによって、家族の思ひ出や、島で育った学びなどが生きつづけられて、次のせだいへどうけつづぐことができればいいなと思ひました。

「小さくなった故郷を守る」このことを主張します。